



人に暮らしに 寄り添う

東名厚木病院は医療の原点である救急医療を基盤として、40年にわたり地域に貢献してまいりました。

近年では、がん治療の長期化に伴い、地域で完結できるがん治療を実現するため、2020年3月に県央医療圏初となる神奈川県がん診療連携指定病院となりました。私たちは患者さんが地域でより幸せな生活が送れるよう、一人ひとりに寄り添う医療を提供する病院でありたいと考えています。「地域と共に歩む」「健康を創り守る」「待機する医療から行動する医療へ」をスローガンに、地域にいま必要なものは何かを考え、私たちはこれからもチャレンジしていきます。

CHALLENGE

東名厚木病院開設趣旨

地域住民のだれにでもいつでも一定レベルの医療を提供すること
24時間・365日の救急医療体制を整備すること
医療を通じて「地域住民の健康を創り、守ること」

理念

地域に信頼される病院
患者に愛される病院
誇りと責任を持てる病院

基本方針

十分な説明と患者さんによる選択に基づく医療を提供します。
診療情報は患者さんに提供します。
公正な医療を提供します。
患者さんのプライバシーを尊重します。
より良い医療を目指して研鑽研修に努めます。



院長ご挨拶

院長 北野 義和

2022年4月より、先代院長兼務していた野村理事長に代わり、東名厚木病院の院長に就任した北野義和です。この場を借りまして、皆様にご挨拶申し上げます。現在、コロナ禍という特殊な状況下で、医療を取り巻く情勢が目紛しく変化している中での院長就任という重責を託されたことには身の引き締まる思いです。

当院は開院以来、一貫して救急医療を中心に地域医療に貢献し、日々精進してきました。日本医療機能評価機構認定を取得し地域医療支援病院に認可され、そして医師の後進育成にも力を入れ、卒後臨床研修評価機構（JCEP）の認定も取得しました。さらに、放射線治療開始や化学療法センター開設と、県央医療圏でのがん治療に尽力を注ぎ、県央医療圏初となる「神奈川県がん診療連携指定病院」の指定を受けました。今後も、救急医療とがん治療は当院の重要な責務としてさらに精進したいと考えています。

こうした活動を支えるためには、多職種が尊重し合いながら連携するチーム医療は必須です。

そのためには職員各々が信頼関係を持ち、意見を出し合いながら、病院発展していけるような働きやすい環境作りが大切であると考えます。また、地域の急性期病院、地域医療支援病院としての役割を果たすためには、より親密な病病連携・病診連携を構築する必要があります。病院や診療所の諸先生方には、この場をお借りして感謝を申し上げます。皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これからも当院の理念を胸に、職員一丸となって頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



東名厚木のがん治療

近年、がんは2人に1人がなるといわれており、生存率も向上していることから、治療が長期化する傾向にあります。治療によっては、一定期間毎日通うことや数年間と長期にわたって通院が必要になる場合も少なくありません。そこで、当院では患者さんやご家族の通院の負担を減らし、厚木市内で治療が受けられるよう体制を整えてまいりました。

県央医療圏初

神奈川県がん診療連携指定病院

地域で完結できるがん治療を目指し、手術療法、化学療法、放射線治療、緩和ケアをシームレスに行っています。また、一般的ながん治療を地域の医療機関と十分な連携をとりながら、診断から治療・退院後の療養までトータルでサポートできるよう取り組んでいます。

* 国立がん研究センター中央病院・東京大学医学部附属病院 診療連携病院



*2020年3月取得

神奈川県がん診療連携指定病院の役割

専門的ながん医療や緩和ケアの提供
 地域のがん医療を担う医療機関との連携
 がん患者に対する相談支援や情報提供

* 神奈川県がん診療連携指定病院は、厚生労働大臣が指定する「地域がん診療連携拠点病院」と同等の機能を有するもので、質の高いがん医療を提供する役割を担う医療機関として神奈川県が指定した施設です。

東京大学医学部附属病院と連携した放射線治療を厚木で

2017年6月より最新型の高精度放射線治療装置「エレクトアシナジー」を導入いたしました。東京大学医学部附属病院放射線治療部門と専用のネットワーク回線をつなぎ、放射線治療計画装置、治療情報、検証情報などを共有することで、厚木市にいながら大学病院と同じ治療環境を整えています。

また、化学療法センターや内視鏡センターを備え、地域で完結できるがん治療に取り組んでいます。



化学療法センター



内視鏡センター



手術室

県央医療圏唯一

緩和ケア病棟

14室（全室個室）

緩和ケア外来、在宅緩和ケア（訪問診療）をはじめ、緩和ケア病棟を運営し、レスパイト入院や緩和目的の放射線治療などに対応しています。がんによる心と身体のだらみに対して専門的にケアを行っており、医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・リハビリスタッフの他、担当ケアマネジャー、訪問看護師などが連携して、ご本人とご家族をそれぞれの立場からサポートしています。



がん相談支援センター

専任の相談員が、がんに関する情報提供を行うと共に、療養上の不安や問題について一緒に考え課題解決のお手伝いをします。また、セカンドオピニオンについてのご相談やがんサロンの開催なども行っています。



2021年 実績

手術療法	5大がん臓器別手術件数
	乳房 88件
	大腸 66件
	胃 40件
	肝臓 1件
	肺 30件
化学療法	1,576名
放射線治療	207名
緩和ケア	51名
がん相談延べ件数	1,045件



24 時間・365 日 迅速かつ円滑で安全な医療の提供

救急医療

24 時間 365 日 全力で受け入れ

創立当初から、医療の原点である「救急医療」に力を入れています。「お断りしない」をスローガンに、救急担当医、救急外来看護師で多種多様な疾患に対応するため、的確な初期検査と治療を実践するとともに、一人一人の患者さんに最適な医療・看護を提供し、迅速で丁寧かつ安全な医療の提供ができるよう取り組んでいます。24 時間 365 日コメディカルスタッフが常駐。緊急に専門の治療が必要な場合は、オンコールで専門の医師が対応し、検査・手術等を行います。

「派遣型救急ワークステーション」の拠点

当院では、救急救命士教育研修の受け入れを行っています。2013 年よりワークステーションを実施し、厚木市の救急車に当院の医師が同乗して、治療や救急救命士の教育指導を行っています。



院内 BLS・ICLS 研修ヘインストラクターを派遣

全職員が、どのような状況でも BLS*1・ICLS*2 が実践できることを目指して活動しています。院外からの受講者も増加しており、地域向けに出張講習も行っています。

*1 Basic Life Support：心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置

*2 Immediate Cardiac Life Support：突然の心停止に対して直ちに行う救命処置

2021 年 実績

救急外来患者総数 8,316 名
救急車受入台数 4,085 台

地域連携

地域医療支援病院である当院は、紹介患者さんに対する医療の提供、開放病床の設置、高度医療機器の共同利用等を通じて、地域の医療機関と協力し、地域完結型の医療体制の構築を目指しています。

診療情報を共有し、一貫性のある医療を実現

地域連携室では、看護師である受診コーディネーターをはじめとしたスタッフ一同が、患者さんの症状や緊急度により、最適な外来への予約・受診調整に努めています。5 床の開放病床については、登録医（連携医療機関）の先生方に副主治医になっていただき、情報を共有し継続的で一貫性のある診療をしています。

当院ホームページの「医療関係者の方」に、紹介状などの各種書類のダウンロード、登録医マップ、紹介外来やオープン検査のご案内などを掲載しています。

2021 年 実績

開放病床登録医	234 名
連携医療機関数	221 医療機関
紹介数	3,148 件（紹介率 91.8%）
逆紹介数	2,594 件（逆紹介率 131.9%）

教育体制

2003 年 臨床研修指定病院となり、これからの医療を担う若い医師の教育指導に力を注いでいます。

これからの医療を担う人材の育成

各種認定研修施設として、実習生の受け入れにも力を入れています。



各種認定研修施設

- 管理型医師臨床研修指定病院
- 救急救命士実習指定病院
- 看護学校実習指定病院
- 薬剤科実習指定病院
- 社会福祉士実習指定病院
- リハビリテーション科実習指定病院

写真で見る東名厚木病院



医師 ホームページ

<https://job-gear.net/sanshikai/>



臨床研修医 ホームページ

<https://www.tomei.or.jp/shareinfo/kensyui/>



看護部 ホームページ

<https://www.tomei.or.jp/hospital/kango/>



コメディカル ホームページ

<https://www.tomei.or.jp/shareinfo/comedical/>



病院概要

開設 1981年6月1日
 職員数 592名（非常勤含む／2022年4月1日現在）
 院長 北野 義和
 副院長 鬼塚 圭一郎 / 中正剛 / 伊藤 玲子
 看護部長 伊藤 玲子
 事務長 久木田 光司
 病床数 282床
 急性期一般入院料1（7:1）200床 / ハイケアユニット8床 / 地域包括ケア病床60床 / 緩和ケア病床14床

2021年度実績

平均入院数 503名 / 月 平均退院数 502名 / 月 平均在院日数 12.6日

施設基準（基本診療科）

一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1） / 臨床研修病院入院診療加算1 / 救急医療管理加算 / 超急性期脳卒中加算 / 診療録管理体制加算1 / 医師事務作業補助体制加算1（75対1） / 25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上） / 看護職員夜間12対1配置加算1 / 療養環境加算 / 栄養サポートチーム加算 / 医療安全対策加算1 / 感染対策向上加算1 / 患者サポート体制充実加算 / 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 / 呼吸ケアチーム加算 / 後発医薬品使用体制加算1 / 病棟薬剤業務実施加算1, 2 / データ提出加算2（イ） / 退院支援加算1（入院時支援加算） / 認知症ケア加算3 / せん妄ハイリスク患者ケア加算 / 精神疾患診療体制加算 / 地域医療体制確保加算 / ハイケアユニット入院医療管理料1 / 地域包括ケア病棟入院料2 / 緩和ケア病棟入院料2

標榜診療科（2022年現在）

内科 / 循環器内科 / 消化器内科 / 肝臓内科 / 呼吸器内科 / 腎臓内科 / 糖尿病・代謝内科 / 人工透析内科 / 神経内科 / 外科 / 消化器外科 / 乳腺外科 / 血管外科 / 呼吸器外科 / 整形外科 / 形成外科 / 美容外科 / 脳神経外科 / 救急科 / 泌尿器科 / 婦人科 / 眼科 / 麻酔科 / 精神科 / 皮膚科 / リハビリテーション科 / 放射線科 / 放射線診断科 / 放射線治療科 / 緩和ケア内科

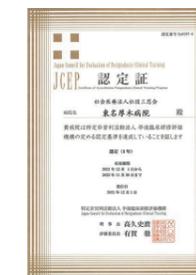
認可・認定

保険医療機関 / 地域医療支援病院 / 救急告示病院 / 神奈川県がん診療連携指定病院 / 労災保険指定医療機関 / DPC対象病院 / 災害時医療支援活動指定病院 / 神奈川県災害協力病院 / 開放型病院認定施設 / 薬剤管理指導認定施設 / 臨床研修指定病院 / 日本病院会「人間ドック」認定施設 / 健康保険組合連合会「人間ドック」契約 / 全日本病院協会「人間ドック」認定施設 / 日本医療機能評価機構認定施設 / 難病指定医療機関 / 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定 / 日本栄養療法推進協議会NST稼働施設認定 / 公益社団法人日本栄養士会 栄養サポートチーム担当者認定教育施設 / 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エキスパンダー実施施設 / 日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会インプラント実施施設



認定医制度の研修施設

日本整形外科学会 / 日本外科学会 / 日本脳神経外科学会（関連施設） / 日本消化器内視鏡学会 / 日本麻酔科学会 / 日本泌尿器科学会 / 日本内科学会（関連施設） / 日本腎臓学会 / 日本循環器学会（関連施設） / 日本救急医学会 / 日本消化器病学会 / 日本脳卒中学会 / 日本乳癌学会（関連施設） / 日本呼吸器内視鏡学会 / 日本透析医学会 / 日本がん治療認定医機構 / 日本脳卒中学会 一時脳卒中センター / 日本脊椎脊髄病医学会 椎間板酵素注入療法実施可能施設 / 神奈川県指定小児慢性特定疾病医療機関 / 日本糖尿病学会（教育施設） / 日本肝臓学会 / 日本病院総合診療医学会



沿革

1981年	東名厚木病院 開設 一般病床 60床 救急指定病院	2003年	医師臨床研修指定機関認定 病院許可病床 209床へ変更
1982年	1号館増改築 許可病床数 100床 厚木市救急輪番制参加	2004年	急性期特定入院加算取得、ICU 施設認定 日本医療機能評価機構認定更新 Ver.4.0 オープン型MRI 導入
1984年	医療法人社団三思会認可 納涼祭スタート	2005年	高機能マンモグラフィ導入
1986年	人工透析治療開始	2006年	64列マルチスライスCT 導入
1987年	2号館増設 許可病床数 202床 医療福祉相談室 開設 「健康の日」スタート	2008年	病院許可病床 267床へ変更
1988年	運動療法施設認定 患者通院バス運行	2009年	社会医療法人認可 日本医療機能評価機構認定更新 Ver.5.0
1993年	病院許可病床 199床へ変更 MRI 導入 看護学校実習指定病院に指定	2011年	地域医療支援病院認可 東日本大震災医療チーム派遣
1994年	東名厚木病院在宅支援センター 開設（病院として県内初）	2012年	第1回東名厚木 ICLS コース開催
1995年	ヘリカルCT・DSA 導入	2015年	卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定
1996年	開放型病院認可	2016年	地域包括ケア病床稼働開始
1998年	日本医療機能評価機構認定（県内初）	2017年	4号館増設 病院許可病床 277床 高精度放射線治療装置「エレクタシナジー」導入 内視鏡センター開設 化学療法センター開設 緩和ケア病棟開設
1999年	特定医療法人認可、医薬分業開始	2018年	病院許可病床 282床へ変更
2001年	3号館増設 透析センター 3号館 2階移転（30床→60床）	2020年	神奈川県がん診療連携指定病院認定
2002年	電子カルテシステム導入		

フロアマップ

1号館	2号館	3号館	4号館
4F 病室 1401～1410	4F 病室 2401～2411	4F 病室 3401～3418	4F 病室 4401～4421
3F 化学療法センター	3F 病室 2301～2317	3F 病室 3301～3318	3F 病室 4301～4321
2F リハビリ室	2F	2F 透析室 カフェテラス ☕	2F 手術室 ICU ラウンジ ☕
1F 相談室	1F 患者総合支援センター がん相談支援センター 地域連携室	1F 内視鏡センター 結石破碎室 生理機能検査室 心エコー 麻酔科外来 入退院支援センター 入院説明 歯科衛生士口腔相談 売店 🍷	1F 放射線科受付 MRI・CT 検査 放射線治療室 一般撮影（レントゲン） 救急処置室 病院受付 / 正面玄関

人に暮らしに寄り添う トータルヘルスケア

社会医療法人社団三思会は、1981年に厚木市に開設した60床の病院から始まりました。「地域に必要な医療とは何か」を考え、保健・医療・介護・福祉施設を展開。現在、神奈川県の中核地区を中心に17施設へと拡大し、東南アジアへも展開しています。私たちはこれからも地域と共に歩み、皆様の健康を創り、守り続けてまいります。

保健施設

東名厚木メディカルサテライトクリニック（健診センター）
新横浜メディカルサテライト（健診センター）
Yangon Japan Medical Centre



医療施設

東名厚木病院
とうめい厚木クリニック
東名厚木病院 透析センター
愛川クリニック
とうめい綾瀬腎クリニック
さがみ緑風園診療所（業務委託）



介護・福祉施設

介護老人保健施設 さつきの里あつぎ
介護老人保健施設 なでしこの里 リハビリひらつか
複合型施設マザーホーム戸室
多機能型事業所 にじいろ
看護小規模多機能型居宅介護事業 いわしくも
訪問看護ステーション もみじ
サービス付き高齢者向け住宅 マザーホーム戸室
訪問看護ステーション さつき
東名厚木病院 居宅介護支援センター
厚木市南毛利地域包括支援センター



社会福祉法人康仁会 特別養護老人ホーム はなの家とむろ



社会医療法人社団三思会
東名厚木病院

Social Medical Corporation Sanshikai TOMEI ATSUGI HOSPITAL

■アクセス



無料送迎バス

小田急線「本厚木駅」「愛甲石田駅」下車
東名厚木病院 無料送迎バス発着場より 10分
* 日曜・祝日は運休・土曜は一部運休

公共交通機関をご利用の場合

- ▷ 小田急線「本厚木駅」下車
厚木バスセンター 9番のりば 厚43系統「森の里」行き
「船子」バス停下車（徒歩3分）
- ▷ 小田急線「愛甲石田駅」下車
2番のりば 愛20系統「毛利台団地」行き
「船子」バス停下車（徒歩3分）

車をご利用の場合

東名高速 東名厚木ICより約3分

■本厚木駅 無料送迎バス発着場



社会医療法人社団三思会
東名厚木病院



〒243-8571 神奈川県厚木市船子 232
TEL 046-229-1771 FAX 046-228-0396
<https://www.tomei.or.jp/hospital/>

バス停・時刻表はこちら ▷▷



がん相談支援センター

何でもお気軽にご相談ください
がん相談支援専門員がサポートいたします

相談無料・匿名可・ご本人・ご家族・ご友人などなたでもご相談できます
専用ダイヤル **046-229-2552** 平日 9:00 ~ 16:00